

国の責任で社会保障制度の拡充を求める 請願署名にご協力ください

全日本民医連は手遅れ死亡事例調査を毎年行い、記者発表しています。今年も、愛知県から2事例報告があり、全国では18道府県から42事例の報告がありました。

健康保険証を持っているにもかかわらず、窓口一部負担金や治療にかかる薬剤費の負担等から、受診控えや治療の中断をして、ギリギリまで我慢し、救急搬送されたときには積極的治療が困難な状態となり、いのちを落とす人がいる実態が浮き彫りになっています。

我が国の社会保障制度は、憲法25条で「すべての国民が健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」を保障し、国が社会福祉や公衆衛生の向上に努めることを定めています。この理念のもと、社会保障制度は国民の生活を支える仕組みとして発展してきました。

社会保障には、低所得者を支える社会の安定に資する「所得の再分配」、病気や失業など生活上のリスクに備える「生活の安定」、景気の変動から国民生活を守る「経済の安定」という重要な役割があります。これらの機能

能が十分に働く制度づくりが求められています。しかし、最近の国民生活基礎調査では、物価上昇などにより「生活が苦しい」と答えた世帯が59・6%に達しています。実質所得の減少が続く、将来への不安が広がって

います。さらに、社会保険料などの負担増が重なり、働いても生活が厳しい人が増えています。国際比較では、日本は政府や企業の社会保障への負担が少なく、国民の負担に依存する傾向があります。今後の社会保障を持続させるためには、大企業や富裕層に公正な負担を求め、国民の過重な負担を軽減する必要があります。

サービスと安全の質向上をめざして ISO9001と病院機能評価を再取得

尾張健康友会グループでは、サービスと安全の質の向上をめざして、ISO9001および病院機能評価を取得しています。今年とともに更新で、7月30、31日にマネジメントシステム外部審査、8月27、28日に病院機能評価を受審しました。

ISO9001外部審査は、「訪問リハビリセンター」新設に伴う特別審査を受審しました。また病院機能評価では、病院機能・役割から運営

障制度の拡充を求め、署名に取り組みましょう。

平和憲法が生きる社会へ 憲法学習会を開催

職員育成
中期研修

8月4日、弁護士の水谷陽子氏を講師に迎え、「憲法が変われば、生活も変わる」をテーマに憲法学習会を開催しまし

た。学習会では、クイズを交えて「そもそも憲法とは何か」を学び、憲法は国民を縛るものではなく、権力の濫用を防ぐた

めのルールで、困っている人が「困った」と声をあげる時、権利を求めたかう時、おかしいと思った人が「おかしい」という時、それを支えるものと学びました。

また「人権とくらし・仕事」の学びでは、生ま

らは戦争への不安を感じたという意見が多く寄せられました。講師からは、平和憲法を守るためには、ただ「守ろう」ではなく、保障された人権を「活かす」として守っていくことが大切であると学びました。

今回の学習会を通して、私たち一人ひとりが憲法について知り、考え、行動する大切さを学びました。今後も学びを深め、憲法を活かす取り組みにつなげて平和憲法を守っていききたいと思います。

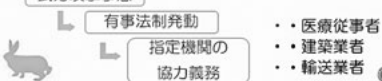
職員育成委員 村瀬 和行

わたしたちにとって、憲法って…

- 権力の濫用を防ぐためのルール。人権実現のために権力を使うよう命じる。
- 市民の困りごとを、政治的に・社会的に解決するために、大事な役割
- 政治や社会が前向きに動く出発点は、困っている人が「困ってます」と声をあげる時、権利を求めてたたかう時、おかしいと思った人が「おかしい」と言う時。
- …それを支えるのが憲法

もし日本が戦争当事者国になると？
—医療従事者への影響

- ・2003年 有事法制
…医療従事者に業務従事を命じることが可能に
- ・2015年 安保関連法（いわゆる戦争法）
「同盟国が被害を受けた」という口実で、日本が戦争に参加することが容易になった = リスク高まった



職員の感想（一部抜粋）

- ▼条文の理解の仕方について具体的な説明があり、わかりやすかった。
- ▼自衛隊が戦闘も含め全面的に支援できるようになったら、有事に医療に携わる私たちまで救護要員として要請がかかるかもしれないと思うと怖い。
- ▼防衛費、軍事費の拡大がすすむと医療・介護、社会保障に使える予算に影響が出る可能性があり、平和で安心してくらすことが難しくなりそう。子どもたちの将来に不安を感じるが増えるかもしれない。
- ▼戦争があった時代に逆戻りしてしまいそう。男性は他国のように徴兵されるかもしれない。
- ▼改憲して戦争に参加するようになったら、医療は軍に優先的に提供され、地域の人々に医療を提供するという千秋病院の理念から外れてしまう。



どの服にしようかしら？

外出企画に笑顔いっぱい！

ケアハウスちあき

ケアハウスちあきでは、9月9日と10日の2日間、外出企画としてテラスウォークへ出かけました。

到着すると、まずはお楽しみの食事タイムです。「何を食べようかな？」と各々に好きなものを選び、おいし

い食事に舌鼓を打ちました。おなかがいっぱいになった後は、いよいよショッピングへ！「これいいな」「こっちも欲しいな」と目移りして、気がつけば両手いっぱい買い物が。財布の紐もちよっぴり外出気分だったようです。

普段とは違う場所で、お食事や買い物を楽しみながら、皆さんとてもすてきな笑顔を見せてくださいまし

介護福祉士 佐野 靖子

尾張健康友福祉会だより

ホームページ: <http://www.chiaki.com/fukushi>

ひとやすみサロン 今回は10月16日

毎月第3金曜日の10時～12時に、売店「ひとやすみ」の向かい側で、ひとやすみサロンを開催しています。

4回目を迎えた8月21日も数名の方が訪れ、昔話で盛り上がり、ボランティア希望の方の楽器演奏に合わせて一緒に歌ったりする場面がありました。介護相談にも来ていただき、お話を

する中で「気持ちが軽くなった」と言っていただけでした。10月の開催日は16日です。無料で飲み物も提供しています。受診前後やバスの待ち時間など、ぜひお気軽にお立ち寄りください。

千秋病院 介護保険サービスセンター
介護支援専門員 成田 康紀

